

第2回 市民と市長の「語ろう会」 ご意見一覧(要約)

第1部 関前地域の安全と災害対策について

No.	ご意見	市の回答・対応方針
1	関前の安全対策・災害対策についてどのように考えているか。	・市長就任時の一番の公約が防災対策だった。武蔵野市は川の氾濫やがけ崩れなどの心配はないが、地震が心配。阪神淡路大震災では家具転倒で亡くなった方が多い。昨年12月に就任後すぐ、4月の当初予算に家具転倒防止金具への助成を盛り込んだ。全世帯を目標にしており、月100件程度の申し込みがある。関前地区の皆様にもご利用いただきたい。 ・能登地震では木造住宅の被害が多かった。武蔵野市では昭和57年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震診断費用の助成を実施しているが、昭和57年以降の建物は対象外だった。今後、新耐震基準の建物も補助対象とした。さらに耐震診断の結果、改修が必要とされた住宅への改修費用の補助も行っている。また火災対策として、感震ブレーカー等の普及・啓発活動を検討していきたい。避難所の整備も重要と考える。 ・現在五中を建て替え中で、次に五小の建て替えが始まる。緊急時の避難所として機能するよう整備したい。基本は自宅避難をお願いしたい。自宅倒壊などの場合に避難所を利用してほしい。災害時になるべく自宅に近い環境のまま避難できるよう、ペットとの同行避難についても考えていく。 ・コミュニティを構築し、自助、共助、公助がうまく機能するとよい。
2	①避難所の快適さについて、現在設置されている防災備品では、プライバシーなど守れないと思われるが大丈夫か。 ②電柱の地中化はどのくらい進んでいるか。	①世帯ごとに隔離ブースを設置しプライバシーの保護をしたい。寝る場所も現在のマットから段ボールベッドのような高さのあるものを検討している。暑さ寒さ対策も考えている。学校に避難することで体調が悪化することのないようにしたい。東京都とも連携して準備したい。 ②地中化するには一定の歩道幅員が必要である。市内の無電柱化率は16.4%となっている。景観道路計画に基づき、無電柱化整備路線を位置付け、災害の防止、安全・円滑な交通確保、良好な景観の形成に向けて、関係機関と連携しながら無電柱化を進めていく。
3	新武蔵境通り(調布保谷線)の安全安心の確保について ①境浄水場と井の頭通りの交差点から武蔵野北高校・関前橋あたりまでの区間について、規制速度が40km→50kmへ引上げられた。小学生の通学路にもなっているので、安全対策をしっかりしてほしい。 ・過去に東京都と武蔵野市主催の説明会の内容(東京都の説明「交通量は大きく増えない見通しであり、既設道路の規制速度は変わらない」)は何だったのか？ ②境浄水場の工事にあたり、水をきれいにするためオゾンガスを発生させる装置が付く。オゾンのモニタリングをしっかりしてほしい。 ③境浄水場は災害時の緊急給水施設が設置されていない。ライフラインは重要なので、給水所を設置してほしい。	①新武蔵境通りは都道となるため、道路管理者は東京都(北多摩南部建設事務所)となる。そのため、交通管理者である警視庁(武蔵野警察署)を含め、情報共有は行った。本来幹線道路を通るべき車両が、生活道路への通過交通が交通事故、静穏な住環境を脅かしている。抜本的な対策は幹線道路(都市計画道路)の整備となってくるが、整備には時間を要するため、現状の中でどういった解決策があるかを検討していくことが、必要と考えている。幹線道路は都(一部は市)、生活道路は市が中心となって、交通安全対策を実施していく。交通量等の実態把握は定期的に行う。(直近では11月6日に実施) ・当該の説明会における東京都の説明について、市には資料がないため答えられないが、ご意見を東京都へ伝えた。 ②東村山浄水場の機能の一部を境浄水場に移転することになっているが、工事は当初の予定より遅れている。オゾンの漏洩がないかしっかりモニタリングするよう東京都に申し入れをしたい。 ③武蔵野市は独自で水道事業を行っており、東京都境浄水場の水は使っていない。今後都営水道への一元化の協議と合わせて、災害時の給水施設についても検討していきたい。

4	災害時の治安について心配している。最近闇バイトなどのニュースもあり、治安が悪化する中で、災害時は警察や消防も通常通り動けなくなるため、火事場泥棒のようなものが多発するのではないかと心配している。 防災と防犯を別々ではなく、連携して対策してほしい。	在宅避難を基本とするのは、防犯面から空き家にしないという意味もある。日頃から警察とは緊密に連携しており、希望者には防犯情報をメールで届けるシステムがある。武蔵野市は特殊詐欺被害も多く、狙われている地域であるため注意してほしい。 高齢者向けに特殊詐欺被害防止用の自動通話録音機の貸し出しも行っている。 災害時にボランティアを装って金品をだまし取るような例もある。日頃から近隣とのコミュニケーションをとり、見知らぬ人が来た場合に声をかけ合うことで防げる被害もあると思う。
5	先日関前4丁目公園から何か投げられたものが窓に当たり、窓に小さい穴が開いた。銃弾の当たったような跡だったことから警察も来たが、周囲に防犯カメラがなく、原因はわからなかった。公園に防犯カメラを設置できないか。	防犯カメラは市内各所にあり、市が設置したものが13台、教育委員会が通学路に60台、商店会が288台設置している。 試行的に防犯カメラを設置している公園もあるが、プライバシーへの配慮など設置には課題もある。公園緑地内の防犯カメラの設置については、設置にかかるイニシャルコストやランニングコストを精査した上で、設置箇所の優先順位をつけ、必要と判断される箇所には導入を検討する。公園以外の公共空間への防犯カメラの設置についても検討を進めている。 地域で一定のグループを作って周辺に防犯カメラを設置する場合の費用助成を行っている。令和7年度からは、住まいの防犯対策補助事業を開始する予定である。
6	地区ごとに防災・防犯に取り組んでいると思うが、関前コミュニティ協議会という単位があっても、古くから地域に関わってきた人と新しく住み始めた人とで格差がある。共助のためにはもっと細かい単位のほうが取り組めるのではないかと心配している。	地域のコミュニティはどのような単位がよいかは難しい。同じ道路沿いに住んでいるコミュニティや小・中学校のPTAを中心とした単位、さらに広い青少協の単位もある。防災対策としては地区社協の単位で防災訓練などにも自主的に取り組んでいただき、積極的に活動していただいている。市として地区社協を支援し、体制を強化していくことは重要と考えている。 状況に応じてさまざまなコミュニティがあってもよい。
7	関前は派出所がない。関前に放置自転車の集積所があるが、最近は放置自転車が減り、土地が広く空いている。 そこに、派出所またはホワイトイーグルの拠点を作ったり、防災備蓄倉庫を設置するなどすれば、防災、防犯両面で有効活用できるのではないかと心配している。	派出所については警察署に伝える。 防犯面については、情報を共有する。 防災備蓄倉庫については管理ができるかなど総合的に検討する。

第2部 市政全般について

8	①武蔵野市は詐欺が多いという話を聞いたが、そのようなことは市のホームページには載っていない。市民に知らせようという姿勢が足りない。 ②ハザードマップに浸水エリア165mmなどの記載があるが、165mmと言われてもイメージがわからない。武蔵野市は年平均どのくらい雨が降るとか、イメージがわきやすい情報も併せて載せてほしい。	①ホームページは見に行かないと情報が得られない。本来はプッシュ型でこちらから情報を提供したい。防災・防犯メールというのがあるが、ぜひ登録いただきたい。防犯防災体制については常に最新の情報をホームページに掲載するよう担当に指示したい。 ②説明を追加するよう検討したい。
9	団地の自治会で紙資源ごみの集団回収に協力しており、市から補助金をもらっている。問題は雨天時にもごみを出していることだ。回収場所には屋根がなく、市では雨天時は紙ごみは出さないようお願いしているにもかかわらず、雨天時に紙ごみを出すような自治会に助成をするのはよくない。	集団回収事業は実施団体と回収業者との契約であり、回収条件・回収方法等の取扱について契約の中で決めていただくのがよろしいかと考える。
10	①グリーンパーク遊歩道と本村公園において、自転車と歩道を分けてほしい。 ②五日市街道の関前3丁目グリーンパーク遊歩道付近とワークマン側から0123はらっぱへ渡るところは信号のないところを渡る人が多いので、信号をつけてほしい。 ③玉川上水の小金井市側は見通し良く樹木が伐採されている。武蔵野市はどうなっているか。	①公園緑地は原則自転車等の侵入や通り抜けを禁止している。一方で、グリーンパーク緑地や本村公園などの通行を目的とした遊歩道形状の公園については、自転車そのものの通行を禁止することは難しく、利用者の良識に委ねている。(グリーンパーク遊歩道は、東京都整備の後、市が維持管理をしている)そのため公園内において自転車の通行を促すような改修は予定していない。 ②都道上の信号については、東京都と警察署が車両や人の通行量等を調査し、信号の必要性を協議して決定する。武蔵野警察署へ要望内容については共有した。 ③玉川上水は東京都の管理だが、東京都の中でも水、樹木、遊歩道、史跡など所管が分かれている。玉川上水の管理者(東京都)にご要望を伝えた。
11	子どもの権利条例制定にあたり、市立小中学校の生徒にアンケートを取ったと聞いたが、私立学校に通う生徒の意見は反映されていないのではないか。私学のいじめ問題にももっと取り組んでほしい。	子どもの権利条例は、市内に在住している子どもに加えて、私立であっても市内の学校とそこに通う子どもも対象としている。 10月に子どもの権利擁護センターを開設した。 いじめ問題にも精通した子どもの権利擁護委員もあり、私立学校におけるいじめなどの相談にも対応できるので、ご相談いただきたい。
12	西久保公園でラジオ体操を行っている。立派な鍵付きのトイレができたが、午前8時30分から午後5時までとなっており、早朝は使えない。時間外も使えるようにしてほしい。	・市立公園等の15箇所のトイレの維持管理を行っており、そのうち施錠管理しているトイレについては午前8時～9時を目安に開錠、午後5時～6時を目安に施錠している。 ・委託業者により順番に公園を回って開錠、施錠をしているが、西久保公園のトイレについては、基本的に一番最初に開錠するため8時前には利用できるようにしている。 ・市内には住宅に囲まれた公園緑地が多いため、トイレの施錠時間を早めることにより、早朝の公園利用による近隣住民への苦情につながってしまう恐れがある。 ・トイレの利用時間の変更については、利用者要望だけでなく近隣住民の理解が不可欠である。
13	・市長への手紙を出しているがまだ返事がない。読んでいるか。 ・本宿小の転落事故で子どもが亡くなった。ヒヤリハット事例を市内全小学校に情報共有して、安全対策について徹底的に考えてほしい。	・市長への手紙は全て読んでいます。回答が遅くなっていることは申し訳ない。早急に回答したい。 ・本宿小の(私立中学生による)事故について、原因については警察からも公式発表がされていない。ただ、子どもの安全対策については、最優先課題として徹底的に取り組んでいく。

14	①図書館で読みたい本を探したが、蔵書として登録がなく、リクエストしたところ、西東京市から借りた本が届いた。武蔵野市の図書館では置いてある本が全体的に古いものが多く、新しい本が少ない。建物は立派で快適な空間だが、蔵書をもっと充実してほしい。 ②ムーバスはあるとないで土地の価値も変わる。土日は間引きされて、通常20分間隔のところ40分待たされたことがあった	①未所蔵資料についてリクエストを受けた場合、武蔵野市立図書館蔵書方針、武蔵野市立図書館資料収集方針に基づき、購入又は他自治体からの取り寄せを検討し、資料を提供している。本市図書館においては上記方針に基づき、所蔵能力に応じた資料の収集を行うとともに、資料の除籍も併せて行い、蔵書の最適な状態を維持していく。 また、図書館では武蔵野市、三鷹市、小金井市、西東京市の4市が協定を結び、相互に利用できる仕組みがあるので、必要に応じてご利用いただきたい。 ②現在ムーバスの運転手不足は大きな課題になっている。運転手を確保し、利便性の良いものにしていきたい。
----	---	--

当日文書で提出された意見(要約)

No.	ご意見	市の回答・対応方針
1	①防犯カメラの設置はどこまでOK ②街灯のLED化はどこまでOK ③電柱の地中化はどこまでOK ④旧図書館跡地の利用は？永年空き地になっている。	①防犯カメラは市内各所にあり、市が設置したものが13台、教育委員会が通学路に60台、商店会が288台設置している。試行的に防犯カメラを設置している公園もあるが、プライバシーへの配慮など設置には課題もある。公園緑地内の防犯カメラ設置については、設置に係るイニシャルコストやランニングコストを精査したうえで、設置個所の優先順位をつけ、必要と判断される箇所には導入を検討する。公園以外の公共空間への防犯カメラの設置についても検討を進めている。地域で一定のグループを作って周辺に防犯カメラを設置する場合の費用助成を行っている。令和7年度からは、住まいの防犯対策補助事業を開始する予定である。 ②平成30年度からの3年間で市内の小型街路灯(蛍光灯)約5,400基、令和3年度からの2年間で大型街路灯約500基のLED化を行った。さらに令和5年度からの2年間で市内に約400基ある装飾街路灯のLED化を行った。 ③市内の無電柱化率は16.4%となっている。景観道路計画に基づき、無電柱化整備路線を位置付け、災害の防止、安全・円滑な交通確保、良好な景観の形成に向けて、関係機関と連携しながら無電柱化を進めていく。 ④旧中央図書館跡地を活用した武蔵野市立保健センターの増築及び複合施設整備を計画している。築35年以上経過している保健センターの老朽化した設備等の更新のほか、災害発生時や新型感染症発生時の対応等の機能拡充を行うため、隣接する旧中央図書館跡地への増築と現存施設の大規模改修を進める。令和11年度中に完成予定。
2	①市民と市長が直接対話できる機会があつてよかった。車座になって和気あいあいな雰囲気できたらもっとよかった。コミセンは地域のコミュニティの中心なので、場所もよい。これからも継続してほしい。 ②学校の改築について、子どもたち、先生方、保護者、住民の負担の少ない改修にしたい。皆さんの声を聴いて真摯に考えていただきたい。	①コミュニティセンターでの実施を中心に、今後の開催方法について引続き検討していく。 ②学校の改築については、老朽化への対応や新たな教育的ニーズへの対応等をふまえ、長寿命化改修では目先の負担を先送りすることになるため、「学校施設整備基本計画」に基づき、改築計画を進めたい。
3	吉祥寺エリアの喫煙禁止エリアを五日市街道より南は井ノ頭通り、東は水門通り、西は吉祥寺通りまで拡大していただきたい。実効性のある施策が肝要です。	駅前周辺の喫煙対策については、市内3駅周辺の商業関係者や市民団体等で構成する「ようこそ美しいまち委員会」と協議のうえ、市内3駅周辺の路上禁煙地区の指定、喫煙所の設置等を行っている。 吉祥寺駅周辺の路上禁煙地区は、駅周辺の五日市街道、吉祥寺通り、吉祥寺大通り、井ノ頭通りに囲まれたエリアを指定し、マナー推進員が週4日、年間約200日間の日中に巡回し、路上喫煙やポイ捨ての禁止を指導し、喫煙所への案内等の働きかけを行っている。 吉祥寺イーストエリアにおいて、令和7年4月より喫煙所の設置及び路上禁煙地区の追加指定を検討している。
4	子ども協会、以前の組織と変わったことで、学童クラブとあそべえが一緒になり、代表が両方を見るためにどこか手を抜いているように見えます。館長が地域に非協力的で困っています。このことを子ども協会に意見をしたら対応してくれるのでしょうか。以前の館長は地域と協働していたのに。	あそべえと地域の関わり方について、あそべえはもともと地域の方が「あそべえ館長」になっているケースがほとんどだった。平成29年度、あそべえと学童の両事業を公益財団法人武蔵野市子ども協会に委託し、両事業を「地域子ども館館長」が担うことになった。 地域子ども館事業は、地域との協働で行うことは子ども協会とも共有している。できる限り地域と協力しながら業務を行っていきたい。
5	学校での性教育はどんなものを想定しているのでしょうか。昨今の行き過ぎたLGBT教育を子供に行うことを危惧しています。	学校での性教育は、学習指導要領に則り、子どもの発達段階に沿った時期と内容で実施している。例えば、全学年を通して道徳科で生命の尊さを取り上げることから始まり、小学校の第4学年の体育・保健領域にて体の発育や発達について、第6学年の学級活動でネットトラブルについて取り上げ、中学校1学年の保健体育で生殖に関わる機能の成熟、中学校第3学年でエイズ及び性感染症の予防を取り上げる。また、文部科学省では子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、「生命(いのち)の安全教育」を進めており、本市においても、子どもの発達段階に応じて取り組んでいる。

事前に文書で提出された意見(要約)

No.	ご意見	市の回答・対応方針
1	新武蔵境通り(調布保谷線)の安全安心の確保(規制速度40→50kmへの引上げに対する対応)について ・新武蔵境通りへの対応を市として何かしてもらいたい。 ・過去に東京都と武蔵野市主催の説明会の内容(都の説明「交通量は大きく増えない見通しであり、既設道路の規制速度は変わらない」)はあったのか？	第1部 3と同様